

R113 県境キャンペーン



▲交通安全を呼びかけました

8月3日、水芭蕉群生地駐車場において、夏の交通事故防止キャンペーン(R113県境キャンペーン)が行われました。当日は、白石警察署の協力のもと、23名の方々が参加し、国道113号を山形から白石方面に向かう一般車やバイクに交通安全を呼びかけました。「炭クッキーでひとやすみ」と題して、すみやのくらしの炭クッキー、蔵王天然水、交通安全のチラシを配布し、通行車の方からは大変喜ばれました。

少年補導員功労者表彰受賞



▲今野三喜男さん(左)、今野誠さん(右)

8月9日、多年にわたり地域の少年非行防止活動に尽力した功績が認められ、白石地区少年補導員の今野三喜男さん、今野誠さんが少年補導員功労者表彰を受賞されました。少年補導員は通勤通学時やイベント等においてパトロールや指導を行うなど積極的に活動され、町内外の非行防止に大きく貢献されています。今後とも引き続きよろしくをお願いします。

子どもたちのために



▲多大なる寄付をいただき、ありがとうございました

8月20日、昨年度に引き続き、ヤマザキ建設株式会社から、子どもたちの教育に役立てて欲しいと30万円の寄付をいただきました。今年度も児童書の購入などに活用します。ヤマザキ建設株式会社は町と災害時における応急対策業務に関する協定を結んでおり、災害発生の際はいち早く応急対応をする他、わらじで歩こう七ヶ宿でのボランティア、冬期除雪における地元雇用など地域に貢献されています。

七ヶ宿町西部地区森林整備推進協定締結



▲左から米田署長、小関町長、本郷局長

8月1日、町と仙台森林管理署、森林整備センター東北北海道整備局との間で県内では3例目となる「七ヶ宿町西部地区森林整備推進協定」を締結しました。これにより、対象の町有林、国有林、整備局所管林の計8,738haを一体的に整備し、作業の効率化と森林による収益の向上を図ることができます。締結式の中で、小関町長は「木質バイオマスや森林・林業の活性化に繋げ、県内や国内に新たなモデルとして発信したい」と述べました。

ふるさと水と土保全隊清掃活動



▲きれいに掃除しました

8月14日、弁天池公園で「ふるさと水と土保全隊」の清掃活動が行われました。お盆の時期でもあり帰省中の家族や町内の親子が参加し、花壇の除草作業や水路の清掃を行い交流を深めました。みんなで協力しあい水源の保全を保てるようきれいに掃除しました。きれいになった水路でイワナやニジマスなどの魚を放流し、魚のつかみ取りを楽しみました。最後に交流会では、捕まえた魚を塩焼きにしてみんなで美味しくいただきました。

雪室まつりイベント開催



▲多くの方が雪室見学いたしました

8月18日、旬の市七ヶ宿で雪室まつりが開催されました。今年で3年目を迎え、暑い気温のなか多くのお客様で賑わいました。雪室見学ツアーでは、雪室内の冷気を体感し、実際に残っている雪を見て涼しさに驚き・感動の声がありました。また、今年収穫された雪室じゃがいもの試食も参加者からは大好評でした。ほかにも生産者の方による旬の野菜や源流米などの販売があり、多くの方々に参加を頂き雪室のPRをすることができました。